

書道 I

対象クラス	第2学年生活デザイン科、第3学年ビジネス科・ビジネス情報科 選択者	単位数	2
使用教科書	書 I (光村出版)		
使用副教材	硬筆レッスン帳		

「書道 I」とはこんな科目です。

- ・書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心を育てます。
- ・書に親しむ活動を通して感性を豊かにし、さまざまな場面に対応する書写能力を育てます。
- ・自己を主体的に表現する能力と書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を育てます。

科目の到達目標(目標とする検定等)

文字を素材とした表現活動が中心となり、さまざまな題材について、表現のねらいをもちながら、自己表現を展開していきます。

- ・「漢字の書」の学習では、いろいろな書風に触れ、表現技術を高め、創作に生かしていきます。
- ・「仮名の書」の学習では、その成り立ちから日本の伝統文化を理解し、美しさや表現技法を学んでいきます。
- ・「漢字かな交じりの書」の学習では、言葉を題材として、芸術的な表現だけでなく、実用的な表現も高めていきます。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	・字形・線質・点画の特徴を理解し、それを表現するための技法を習得しているか。	・提出作品 ・考査
思考・判断・表現	3	・それぞれの古典の特徴を捉え、表現活動に活かしているか。 ・表現を工夫して、効果的な表現をしようとしているか。	・ノート提出(取り組み・鑑賞・振り返りなど)
主体的に学習に取り組む態度	3	・さまざまな書の美に関心を持っているか。 ・意欲的に表現し、書の美を感じ取ろうとしているか。	・学習活動への参加状況 上記の内容を総合的に判断(決定)する

学習計画(どのような内容を、どのような時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期 中間	・書の美、書の表現 ・漢字の書 I 【前期中間考査】	・書写と書道 ・用具と用材 ・姿勢と執筆法 ・楷書の表現と鑑賞 ・楷書の用筆法 ・楷書による創作	・「書写」と「書道」との関連及び違いについて理解する。 ・用具や用材によって、線質や表現が変わることを理解する。 ・正しい姿勢と執筆法を理解する。 ・各古典の線質の違いを理解し、その美しさの特徴を鑑賞する。 ・さまざまな用筆法を学び、字形と線質が作品の雰囲気にとどのように関係するかを理解する。 ・自分の思考や感動を表現できる語句を選び、楷書の特徴を理解し、表現方法を工夫して、作品を創作する。
前期 期末	・漢字の書 II I 【前期期末考査】	・行書の表現と鑑賞 ・行書の用筆法 ・行書による創作 ・創作作品の鑑賞	・各古典の線質の違いを理解し、その美しさの特徴を鑑賞する。 ・基本的な用筆法を学び、創作に活かす。 ・自分の思考や感動を表現できる語句を選び、行書の特徴を理解し、表現方法を工夫して、作品を制作する。 ・制作した作品を生徒同士で鑑賞しあう。 ・蘭亭序の臨書を中心に行書の筆遣いを身に付ける。
後期 中間	・仮名の書 I 【後期中間考査】	・仮名の表現と鑑賞 ・仮名の基本的な筆遣い ・仮名の単体と連綿・変体仮名 ・仮名による創作 ・創作作品の鑑賞	・平安時代の名筆を通して、仮名の美しさとその特徴を鑑賞する。 ・仮名独特の基本的な用筆法を身に付ける。 ・連綿・変体仮名を使いこなす、仮名の美を追求する。 ・自分の思考や感動を表現できる和歌を選び、仮名の特徴を理解し、表現方法を工夫して、作品を制作する。 ・制作した作品を使い、百人一首大会を行う。
後期 期末	・漢字仮名交じりの書 【学年末考査】	・漢字仮名交じりの書の美 ・いろいろな線による表現 ・用具用材による表現の変化 ・紙面構成のバリエーション ・漢字仮名交じりの書の創作 ・創作作品の鑑賞	・書の幅広い表現方法を理解する ・運筆・用筆の違いによる変化を理解し、自分の意図にあった表現方法を身に付ける。 ・文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身に付ける。 ・自分の思考や感動を表現できる語句を選び、表現方法を工夫して、作品を制作する。 ・書の日常性へ目を向け、生活の中へ積極的に取り入れる。